一般社団法人 National Clinical Database

2019 年度事業報告書

National Clinical Database（以下 NCD）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- データ入力仕様の要望を加盟学会より受け付け、改訂を行い、収集データの改善を図った。
- ソフトウェア品質を確保しながら効率的な開発及び業務担当者間での共進化を図った。
- 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能の充実を図った。
- 追跡調査の補助機能を継続的に開発し、フォローアップ情報の入力率向上に寄与した。
- NCD を基盤とした保険請求データ（DPC・レセプトデータ）の研究利用について検討した。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 臓器別癌登録のデータベースを整備し、各種症例登録システムとの連携を図った。
- 内視鏡外科領域を各種症例登録システムへの展開を図った。
- 自施設データダウンロード機能を継続的に提供し、医療品質の評価や改善に寄与した。
- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートを通じて、臨床的検討を行った。
- 各領域での Site-Visit や Web-Audit におけるデータ検証等を支援した。
- 院内情報システムに NCD 症例アップロード機能の連動を図った。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を継続的に行った。
- 質の高いデータ活用環境に向けて、データチェックの仕様を改善した。
- NCD 以外のデータベースとの突合可能性について検討した。
- 医療機器等の製造販売後調査における信頼性担保のため、運用改善を図った。
- NCD セミナー、各領域の学術総会、手順書作成などを通じて、業務連携に努めた。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- 施設会費プランの検討、施設会員登録に関する周知活動等。
- セキュリティ保持、知的財産の管理、法・倫理的課題の解決。
- 科学的根拠のもとでの行政との意見交換。
- サーバーリプレイス、データセンター運用条件の検討等。

以上